

種類  
山海鹽

〔大上臈御名之事〕女房ことば

一しほ おいたみ しろ物とも

一やきしほ やきおいた

〔物類品隣ニ〕食鹽 和名シホ、鹽ノ品類多シ、海鹽、井鹽、鹹鹽、池鹽、崖鹽、石鹽、木鹽等、食用ニ充ベキヨシ、皆食鹽ナリ、印鹽ハ獸等ノ形ヲ作りタルヲ云、本邦花鹽ノ類ノゴトシ、飴鹽ハ飴ヲ拌マゼタルモノナリ、本邦所々ヨリ出ルモノハ、皆末鹽ナリ、ハナ鹽ヤキ鹽ノ外ハ製作モナシ、鹽井等モアレドモ、日本ハ四方海ニ近キ國ユエ、製スルモノ希ナリ、紅毛人持來ルモノハ種類多シ、紅毛語鹽ヲソウト、云、ラテン語ニテサルト云、

崖鹽 一名生鹽、東壁崖鹽ヲ食鹽トシ、又光明鹽ノ一種トス、今按ズルニ、其說相戾レルニ似テ、却テ說得タリ、崖鹽ハ食鹽ナリ、其中明瑩ナルハ光明鹽ナリ、蠻産紅毛人持來ル云、山崖ノ間ニ生ズト、其形白礬ノゴトク黯色ナリ、下野鹽谷郡鹽産形枯礬ノゴトシ、

自然白鹽、和名ヲランダジホ、吳錄曰、婆斯出自然白鹽、如細石子ト、綱目光明鹽集解中ニ見エタリ、今按ズルニ、是亦食鹽ナリ、故ニ此ニ出ス、近世紅毛人持來ルニ因テ、ヲランダジホト云、形方稜累疊トシテ相重、屋形ノゴトシ、味鹹甘能胸膈ヲ開ク、蠻産上品讚岐山田郡瀉本産、蠻産ト異ナルコトナシ、方言ジチンジホ、又テントウジホト云、亭戸鹵地ニ海水ヲソ、ギ、日ニ晒スコト數次、霜ヲ生ズルヲ待テ刮取、海水ヲ以テ淋滲シタルヲ、名テタレシホト云、是ヲ池中ニ貯置バ、其底自然ニ凝結シタルモノナリ、讚岐小島豆土莊産上ノモノニ同ジ、

戎鹽、蠻國ニ産ス、故ニ胡鹽、羌鹽等ノ名アリ、凡ソ中華ニ産セズシテ、蠻國ヨリ來ル鹽ハ、皆戎鹽ナリ、然ドモ古方戎鹽ト稱シテ藥用トスルハ、青赤ノ二種ノミ、

青鹽、形色頗ル南蓬砂ノゴトク青黑色ナリ、